

- 早出遅出勤務請求書
- 深夜勤務制限請求書
- 超過勤務制限請求書

(各省各庁の長)		請求年月日		年 月 日	
----- 殿					
次のとおり		<input type="checkbox"/> 養育 <input type="checkbox"/> 介護		のため <input type="checkbox"/> 早出遅出勤務 <input type="checkbox"/> 深夜勤務の制限 <input type="checkbox"/> 超過勤務の制限 (人事院規則10—11 <input type="checkbox"/> 第9条 <input type="checkbox"/> 第10条)	を請求します。
請求者 所属 氏名 -----					
1 請求に係る子又は要介護者	氏 名	(続柄等: -----)			
	子の生年月日	年 月 日生 (□出産予定日)			
	養子縁組の効力が生じた日	年 月 日			
2 職員の配偶者で当該子の親である者の有無及び状況	□有	<input type="checkbox"/> 深夜において就業している <input type="checkbox"/> 負傷、疾病又は身体上若しくは精神上の障害により養育が困難である <input type="checkbox"/> 産前6週間(多胎妊娠の場合にあつては、14週間)又は産後8週間以内である		□無	
3 要介護者の状態及び具体的な介護の内容					
4 請求に係る期間	早出遅出勤務	年 月 日から	<input type="checkbox"/> 毎日 <input type="checkbox"/> 毎週 曜日 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	深夜勤務の制限	年 月 日まで			
	超過勤務の制限	年 月 日から <input type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 月 (12月に満たないものに限る。)			
5 請求に係る早出遅出勤務の始業及び終業の時刻並びに当該時刻とする理由	時 分 始業	【理由】			
時 分 終業					
(注)					
1 について					
① 「続柄等」欄には、請求に係る子又は要介護者の請求者との続柄等(請求に係る子が人事院規則10—11第3条に規定する特別養子縁組の成立前の監護対象者等に該当する場合には、その事実。)を記入する。					
② 「子の生年月日」欄及び「養子縁組の効力が生じた日」欄は、子を養育するために請求する場合において記入する。なお、請求に係る子が請求の際に出生していない場合には、「子の生年月日」欄に出産予定日を記入し、「出産予定日」の□にレ印を記入する。					
2 について					
① この欄は、子を養育するために深夜勤務の制限を請求する場合において記入する。					
② 「深夜において就業している」とは、深夜における就業日数が1月に3日を超えることをいう。					
3 について					
この欄は、要介護者を介護するために請求する場合において記入する。					
4 について					
小学校就学の始期に達するまでの子を養育するために早出遅出勤務又は深夜勤務の制限を請求する場合には、当該請求に係る子が満6歳に達する日以後の最初の3月31日以前の日を早出遅出勤務終了日又は深夜勤務制限終了日として請求する。					
5 について					
この欄の始業及び終業の時刻は、あらかじめ定められた早出遅出勤務に係る始業及び終業の時刻のうち、請求するものを記入する。					